



田園空間博物館だより なすの大地

第35号

2020年3月発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。
当運営協議会は「那須野が原西部田園空間博物館」の管理、運営を行っています。

「那須野が原西部田園空間博物館」とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、横林・^{にわたこ}接骨木地区）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たてて、『屋根のない博物館』として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、**県内では唯一の博物館**です。

総合案内所が、那須野が原博物館に併設されており、パンフレット、大型パネル等により当博物館の案内をしています。

1 令和元年度の協議会の主な活動

①小学生サテライト絵画展

那須野が原西部田園空間博物館の対象エリアになっている西那須野地区の小学校6校と横林小学校の高学年の児童を対象にサテライト絵画の募集を行い、5会場（栃木県庁、西那須野産業文化祭、なしお博、那須野が原博物館、那須野が原公園）で絵画展を開催し、対象エリア内のコミュニティにおいても、公民館等で絵画が展示されました。

絵画展



【西那須野産業文化祭会場】



【なしお博会場】

優秀作品紹介

応募作品全246点（東19点、槻沢68点、南10点、西87点、三島37点、大山22点、横林3点）の中から、**優秀作品15点**（最優秀賞1点・優秀賞14点）が当運営協議会員の審査により決定しました。

〈最優秀賞〉



「大山別邸」
大山小学校6年 福崎 悠さん

〈優秀賞〉



「乃木神社」
5年 増田 匠馬さん



「乃木神社」
5年 宮本 京佳さん

〈優秀賞〉

●大山小学校（大山地区）



「大山別邸」
6年 高柳 日菜子さん



「大山別邸」
6年 渡辺 莉一さん

●東小学校（中央地区）



「支所庁舎時計塔」
5年 日比野 亮介さん



「時計台」
6年 鈴木 安奈さん

●槻沢小学校（狩野地区）



「西遅沢の温泉神社」
5年 齋藤 菜々虹さん

●南小学校（南地区）



「親王台と那須開墾社第一農場跡」
5年 室井 庵さん

●西小学校（西地区）



「那須疏水水車」
5年 上田 理央さん



「光尊寺」
5年 須田 宗一郎さん

●西小学校（西地区）



「光尊寺」
5年 高嶋 柚葵さん



「光尊寺と大銀杏・馬頭観音」
6年 郡司 華奈さん

●三島小学校（三島地区） ●横林小学校（横接地区）



「西遅沢の出釜湧水地」
6年 鈴木 廉汰郎さん



「接骨木の常夜灯」
6年 関谷 遼真さん

表彰式

田園空間博物館総合案内所（那須野が原博物館）の研修室において、入賞者の児童と保護者を招き表彰式を1月18日（土）に開催しました。



【表彰式の様子】



【集合写真】

②サテライト見学会 【9月24日（火）開催】

田園空間博物館のサテライト及び関連施設を巡る「サテライト見学会」を26名の参加により開催し、下記のコースを見学しました。

「津室川湧水地」⇒「乃木神社・乃木清水」⇒「金刀比羅神社」⇒「西郷神社」⇒「開拓苦難の石塚」⇒「田園空間博物館総合案内所」⇒「三島神社」⇒「那須開墾社第二農場跡、那須開墾社事務所堀」⇒「那須疏水水車」⇒「那須野が原公園」⇒「赤田調整池」⇒「深山ダム」



【金刀比羅神社】



【三島神社】



【那須開墾社第二農場跡】



【深山ダム】

③博物館フェスタ [11月3日(日・祝)開催]

那須野が原博物館で開催された「博物館フェスタ」の催しで、当運営協議会は、弓矢体験を行い、114名が体験しました。

弓矢体験



④第16回那須野が原ウォーク [11月17日(日)開催]

那須野が原公園や千本松牧場周辺のサテライトを徒歩で巡る「那須野が原ウォーク」は、116名の参加により開催され、当日は天気も良く、所々に紅葉が見られました。

ゴール後、抽選会を行い参加者全員に賞品が渡されました。



【昭和天皇のお手植え松】



【松方別邸】



【那須疏水探訪の小径】



【赤田調整池】

⑤台風19号によるサテライト被害の復旧清掃作業

○「乃木清水」

乃木清水は、木道への枝の散乱・倒木、通路の土砂流出、水路への枝の堆積などの被害を受けました。その復旧清掃作業は、11月24日（日）に当運営協議会の役員及び整備部会と大山地区コミュニティの皆さんのご協力により実施しました。



【被害状況】



【作業の様子】

○「津室川湧水地」・「西遅沢の出釜湧水地」

津室川湧水地、西遅沢の出釜湧水地についても、木道への枝の散乱、倒木、水路への枝の堆積などの被害を受けました。こちらの復旧清掃作業は、10月26日（土）に狩野地区コミュニティの皆さんのご協力により実施しました。

また、西遅沢の出釜湧水地については、水路の法面が崩落したため、市で災害復旧工事を実施することとなりました。

「津室川湧水地」



【被害状況】



【作業の様子】

「西遅沢の出釜湧水地」



【被害状況】



【作業の様子】

2 特集

「那須疏水」（世界かんがい施設遺産）以前の 那須野が原西部地区の湧水と小川あれこれ

シリーズ 4 南地区コミュニティ

○南地区コミュニティと那須疏水

一区町が位置する平地は大小4本の河川がある那須東西原の西側の那須野面地区の平坦な南地区である。江戸時代は周辺地区親園村、石上村南の佐久山地区牛馬の飼葉・田畑の肥料の大供給地であった。表流水がなく人が住めなかった。江戸から明治になりこの地が政府の物となり何らかの生産の拠点としての注目を集め、政府要職を退官をした人たち・江戸の金持の方々の目に止まった。しかし、最終的には印南丈作・矢板武の開拓者二人による那須開墾社が明治13年に開設され、以後様々の曲折を経て緑豊かな南地区が誕生し今日を迎えている。

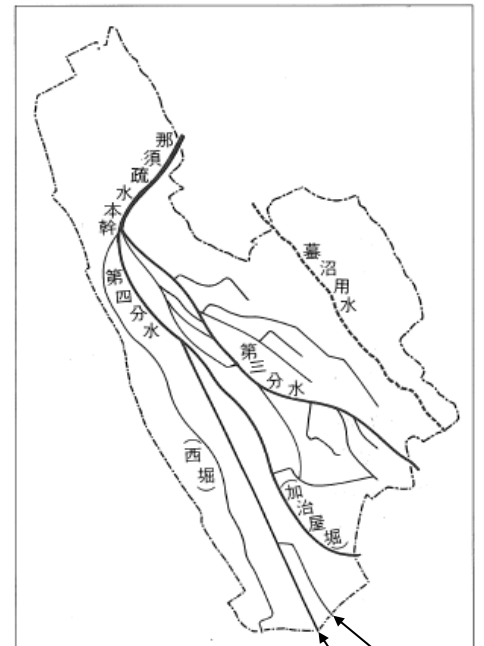
那須疏水は那須原東端の大河那珂川の西岩崎からの掘り割りによる明治18年に完成した疏水で、日本3大疏水の一つである。この疏水には大きく分けて4つの分水があり、第三分水が主に旧狩野地区、第四分水が旧西那須野地区・現大田原市の加治屋地区になっている。第四分水は、①南地区西側の西堀、②中央の縦道に沿った縦堀、③縦堀の東側に有る加治屋堀との3つに大きく分かれている。

南地区コミュニティ二区町地区には分水管理者によって「蛭の里」部会が結成され蛭の幼虫を育て七月に鑑賞会が開かれている。また、南小学校にも疏水による「水辺」が設置され子供たちが管理している。一区町地内の縦堀北端で東堀が分割され一区町の米所を支えている。

疏水の配分水は最初「明治33年1月1日現在で戸数を限り戸数割りを設ける」と戦後まで大変厳しい物であったが、現在は変更されている。今も水の貴重さから水利権の管理は厳しくされている。分水の方法は背割り分水で現在は固定的に完全に管理されているが、現土地改良前の土掘時代には春先に管理班ごとに集まり分水を設計し管理されていた。

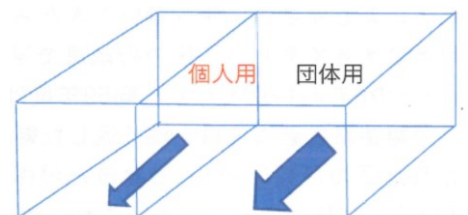
（文責：田園空間博物館 企画広報部会）

《西那須野地区の那須疏水と主な水路》



『西那須野町の自然』より (東堀) (縦堀)

《背割り分水のイメージ図》



《背割り分水の写真》



那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇発行・問合せ先◇

Tel 0287-37-5108 (事務局：那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内)

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>

サテライトの紹介、当協議会のイベントなどはホームページでもご覧になれます。

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、希望される方は各公民館までお問い合わせください。